

(別紙)

数字・文字入力必要箇所

選択必要箇所

自動入力箇所

提出書類の区分	温室効果ガス排出抑制計画書							
住所	東京都品川区大崎1丁目11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー							
氏名	株式会社ローソン 代表取締役 社長 竹増 貞信							
主たる業種	58飲食料品小売業							
事業概要	コンビニエンスストア「ローソン」のFCチェーン展開							
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者							
※該当する項目すべてにチェックを入れてください。(複数可)								
計画期間	2023	年度～	2027	年度	令和5	年度～	令和9	年度～
					5			か年
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績①	前年度の実績	目標年度②	増減率			
		2022	年度	年度	2027	年度	$(②-①)/① \times 100$	
	総排出量	5,535	t-CO2	t-CO2	5258	t-CO2	-5.00452 %	
	原単位の排出量	35.39			32.64		95 %	
原単位の考え方	二酸化炭素排出量を算出する際、その主たる要因が電気使用である							
目標達成のための基本方針	LAWSON BLUE CHALLENGE 2050 <a href="https://www.lawson.co.jp/company/activity/sustainability/bluechallenge/">https://www.lawson.co.jp/company/activity/sustainability/bluechallenge/</a> を参照ください							
目標達成のための推進体制	CROを委員長としたSDG s 推進委員会にて、ワーキンググループにて具体的な取り組みを推進しており、そのワーキンググループの一つにCO2削減ワーキンググループがあり、具体的な施策を推進している							
目標達成のための措置の内容	【既存店】一定年数を経過した空調機、冷凍機を高効率な機器へ順次入替実施。 【新店】LED照明(店内、看板) CO2冷媒要冷・冷蔵機器システムを標準設備として導入。 店舗における「省エネ10か条」の励行							
特記事項	指標：売上高 単位：169億円 当社が加盟する業界団体である日本フランチャイズチェーン協会が自主行動計画以降の中で目標指標となる原単位を「売上高」としているため。							